日本道路公団納めイントラネット気象中央局システム

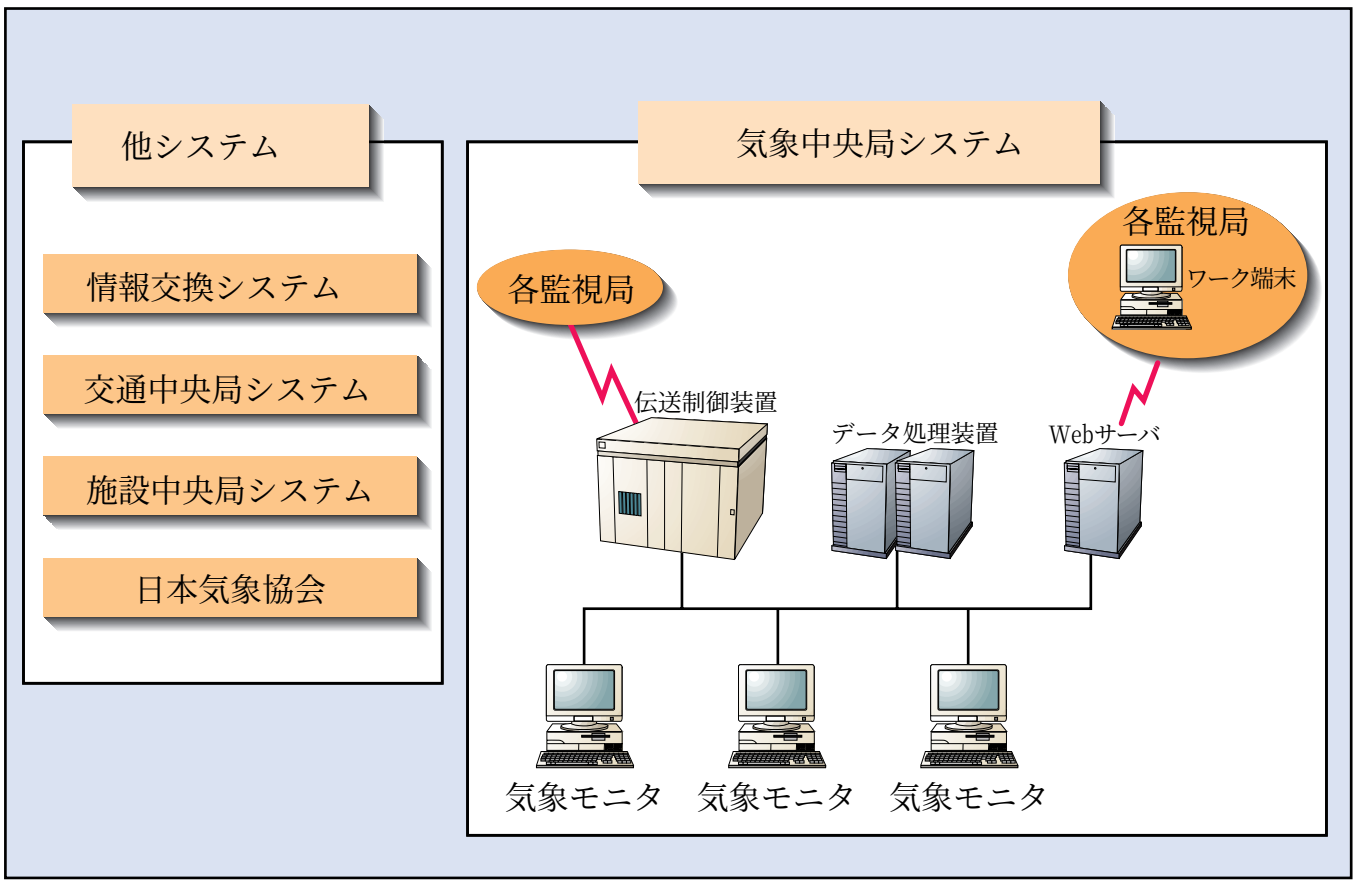
松本克平*　野村　立*
垣根一富*
畑森壽文*

要　旨

日本道路公団納め気象中央局システムは，気象情報や地震情報の収集・配信を行うことによって高速道路の交通管制業務を支援することを目的とするもので，イントラネット技術を適用して監視制御システムを構築したことを特長としている。これにより，数百台のワーク端末の増設にも柔軟に対応できるとともに，画面の追加・変更も容易に行えるシステムを実現することができた。

イントラネット技術はプル技術を基本としているが，監視制御システムに適用するため，プッシュ技術を開発して気象モニタの自動表示更新機能，　地震発生時・故障検出時における気象モニタへの警報出力機能を実現した。

イントラネットの応答性能については，数百台のワーク端末のうち20台から同時アクセスするものとして評価した結果，約３秒の応答性能が得られた。ただし，実システムでは，データベースをアクセスすることによる負荷が大きいため応答性能が遅くなるので，これを改善していくことが今後の課題である。



気象中央局システムの基本動作

各監視局から送信される気象データや地震データを，データ処理装置のファイルに蓄積するとともに，交通管制室に設置する気象モニタや個人の事務机上に設置するワーク端末に表示する(気象データ送信周期：５分)。